



やまだ
広報

4月1日号 2006

No
.....
864

今号の主な内容

施政方針の内容
平成18年度予算の中身
みんなのスペース
介護保険制度の改正
国保税の税率を改定
町のわだい

2~5
6~7
8~9
10
11
12~13

CONTENTS

思い出を胸に笑顔で巣立ち

3月24日、豊間根保育園(佐々木マサ子園長・園児69人)で卒園式が行われました。4月から同園は民営化されるため、町立保育園としての卒園式は今回が最後。式では、23人の卒園児一人一人に佐々木園長から保育証書が手渡され、園児は「ありがとうございました」と元気よく受け取っていました。

町民と行政が主体性を持った 協働でさるまちづくりを推進

平成十八年度の町政の進む方向を決める、第一回町議会定例会が二月二十一日から三月十日まで開かれ、十八年度一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には、沼崎喜一町長が「町民の皆さまと行政が役割と責任を分担しつつ協働し合い、お互いが主体性を持った、協働できるまちづくりを推進するため、全力を傾ける覚悟です」と、第8次山田町総合発展計画の六つの柱を基本に、施政方針を述べました。今号では、施政方針の主な内容と十八年度予算の中身を紹介します。

施政方針の内容



施政方針を述べる沼崎喜一町長

平成十八年第一回山田町議会定例会が開催されるに当たり、平成十八年度における町政運営の基本的な考え方に、町民並びに議員の皆さまのご理解とご指導をいただきたいと思います。

昨年は、山田町が昭和三十年に町村合併して五十周年の記念すべき節目の年となりました。

今年は、町民アンケートや新しい試みとして設置した「まちづくり委員会」、

地域の特性を生かした産業振興で元氣創造をめざすまち 外来船誘致協議会活動を支援

地域に活気を生み出す農林水産業の振興については、既存産業の活用による地域の技術や農林水産物を生かし、生産から加工・販売までを進め、町内で製品化された商品のPRと地産地消に努めながら、消費地域の拡大につなげることが重要であると考えます。

水産業については、安全で安心できるおいしい水産物を供給することが、

生食用殻付きカキの生産をはじめ、あらゆる産物の出荷増大に結び付きます。漁家の所得向上を目標に、ノロウイルスなどの衛生対策、カキ殻等貝殻廃棄物対策、グリーン・ツーリズムによる

消費者との交流対策、イベントなどを通じた販売対策に強力に取り組み、関係機関への積極的な働き掛けや消費拡大に向けたイベントなどを支援してまいります。

岩手県漁協系統は、平成十七年度末十一拠点漁協、十九年度末県一漁協に合併する努力をしております。本町においても、拠点漁協となる山田地区一漁協実現に向け引き続き支援してまいります。山田魚市場における水揚げを促進するため、新たに発足する外来船誘致に係る協議会の活動を支援してまいります。

カキ殻等貝殻廃棄物については、そ

の一部を町が処理するほか、織笠漁業協同組合が行う破砕機の整備を支援し、適正な処理およびリサイクルの推進に努めてまいります。

農業については、山田町堆肥センターが、昨年有機肥料の出荷施設を整備し、指定管理者制度を導入した民間主導での本格稼働に向け、支援に取り組んでまいります。

畜産については、和牛・乳雄の肉用牛肥育経営の安定を図るため、価格安定事業を支援してまいります。

環境にやさしい快適な生活基盤の整備で元氣創造をめざすまち 木造住宅耐震診断助成を実施

交通・情報網の整備は、岩手県沿岸部に生活する私たちの地理的・時間的ハンディを克服し、産業振興、生活環境の向上、さらには地域住民の生命を守るための必須要件でもあります。

三陸縦貫自動車道は、「宮古道路」が工事着工の運びとなりました。「釜石山田道路」は既に工事の一部に着手しており、北側、南側の整備が着々と進んでいます。今後も、引き続き事業促進について国および関係機関に対し強く要望してまいります。

県道については、一般県道宮古山田線の国道45号までの拡幅改良、主要地方道重茂半島線の急カーブ・急こう配改良、幅員拡幅などを県に要望してまいります。町道については、県代行事業での織笠・外山線が国道取り付け工

健やかで、安心できる暮らしの実現で元氣創造をめざすまち

地域包括支援センターを設置

全国的に、食生活や運動時間の減少など生活習慣の変化による疾病構造は、「がん」「心臓病」「脳血管疾患」などの生活習慣に起因する病気が増加傾向にあり、本町においても生活習慣病が六割を占めております。

柳沢北浜地区土地区画整理事業は、工事着手から七年目を迎えました。本年度は、区域内の核となる施設である県立山田病院が完成する予定であり、街路築造、宅地整地、家屋移転などを計画的に整備してまいります。

国土調査事業は、船越第十七地割の一部、およそ三百三十五筆について地籍調査を進めます。

この状況をとらえて、地域保健の充実については、生活習慣を改善して病気の発生を予防する「一次予防」に重点を置いた健康づくりを進めるため、地域ぐるみで「自分の健康は自分で守る」という意識啓発による「健康やま



町の発展には、地域に活気を生み出す農林水産業の振興が欠かせません（養殖ワカメの出荷作業）

だ21プラン」を実践する保健事業を進め、さらに認知症や寝たきりを防ぎ、介護を受けないで健康に生活できる「健康寿命の延伸」のため、介護予防の充実に努めてまいります。

地域医療については、本町の中核医療機関である県立山田病院の移転新築開院が平成十八年度に予定されており、新県立山田病院が地域総合病院として十分な機能が果たされるよう、引き続き医師確保要請活動を進めてまいります。

地域福祉体制の充実強化については、行政によるサービスの提供だけではこれに応えることは不可能であり、町民一人ひとりが持っているいたわりと支え合いの「福祉力」による、地域に根ざした福祉活動が展開できる地域づく



介護を受けないで健康に生活できるように、介護予防の充実に努めていきます（転倒予防教室）

りを進める必要があります、住民との協働によるボランティア活動を推進してまいります。

子育て支援事業は、育児相談、子育てガイドブックの作成、子育てサークルなど支援事業を実施してまいります。また、児童虐待などの要保護児童対策地域協議会の設置により、相談支援事業などの充実に努めてまいります。

介護保険サービス基盤の充実については、制度の大幅改正を伴う第3期介護保険事業計画が平成十八年四月からスタートします。この計画では「すべての町民が住み慣れた山田町で老後を安心して生活ができるようなまちづく

手をつなぎ、未来への芽をはぐくみ元氣創造をめざすまち

「山田町史 下巻」を発行

人生を豊かにする生涯学習の推進については、「いつでも、どこでも、だれでも」各種学習機会に接することができるよう、生涯学習ガイドブック、公民館だよりなどによる学習情報を提供し、自治会などコミュニティ組織の自主運営による地域に合った、地区生涯学習講座の開設支援や「人づくり町づくり町民の集い」を開催してまいります。

就学前教育の充実については、人間形成の基礎を培うため、地域との交流や体験学習を導入しながら豊かな人間性をはぐくむ教育に取り組みます。また、幼稚園、保育園、小学校などの連

り」を目指し、予防事業に重点を置くことにしております。その拠点として「地域包括支援センター」を新たに設置し、介護予防事業をはじめ、総合相談支援、権利擁護、家族介護支援など、さまざまなサービスを包括的・継続的に実施してまいります。

障害者福祉の充実については、今年四月に障害者自立支援法が施行されることから、三障害（身体・知的・精神）に対して、住み慣れた地域において自立した日常生活、社会生活ができるよう必要な障害福祉サービスに係る支援、福祉の増進を図るため、障害福祉計画を策定してまいります。

携を一層促進し、幼保小合同授業研究会の充実を図ってまいります。

学校教育環境の充実については、コンピュータがすべての学校に整備されたことにより、コンピュータについての知識や活用能力の向上を目指し

住民参加と協働で元氣創造、自律をめざすまち

新たに住民協働推進室を設置

近年、隣近所を含めまわりの人と人

との結びつきが希薄化し、地域課題を自ら解決する力が弱まってきた中、コミュニティの再生が強く求められ



町では今後も経常経費の節減に努めていきます

縮・節減により見込まれる財源不足額の縮小を図ることを基本的認識として進めてまいりました。この厳しい現状を深く認識し、今後とも限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化を進め、経常経費全般について徹底した節減に努めてまいります。

山田町行政改革大綱については、昭和六十一年度から平成十七年度までの二十一年間にわたり、二度の見直しを行い一定の成果を上げてきました。平成十七年度において策定した新しい行政改革大綱における改革に当たっては、「住民の選択と負担に基づき行政サービスを提供する分権型社会」、「住民の自助・共助が発揮される住民協働による補完型社会」、「地域のさまざまな力を結集し共に歩む自律的な行政組織」の三つの視点で、これまでの常識にとらわれない不断の行政改革に取り組んでまいります。

広域行政の推進については、宮古市、田老町、新里村が平成十七年六月に合併し、新宮古市が誕生しました。今後は、新たな宮古下閉伊広域圏として、

た山田プランを作成し、情報教育の充実に取り組んでまいります。

また、小中連携の成果の上に立って、町民の誇りとしての中高生を育成するとともに、山田高校の魅力ある学校づくりを支援するため、山田町中高連携教育を推進してまいります。

児童生徒が登下校する際の安全の確保については、各地域ごとにスクールガードを委嘱する「地域ぐるみの学校安全体制整備事業」に取り組んでまいります。

社会の変化に対応した社会教育の充実については、社会教育が生涯学習を推進する中心的役割を担っていることから、町民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯の各時期にわたっての学習機会の提供や学習活動の支援に努めてまいります。

町の文化財の保存・保護・伝承と愛護思想の普及を図るため、房の沢古墳群からの出土品の適切な保存処理と活用を努め、また、新たに新道貝塚遺跡の調査を実施してまいります。

「山田町史 下巻」については、平成十八年度発行に向け進めてまいります。

ております。

21世紀のまちづくりを進めていくためには、これまで以上に地域住民の積極的な参画と協力が必要であり、住民

主体の地域づくりやコミュニティ活動の活発化を促進し、町民一人ひとりの創意とエネルギーが結集された地域と行政とのパートナーシップの形成に努めていかなければならないと考えております。

住民自治と地区コミュニティ活動の推進については、町内では一部の地域を除いて、自治会・コミュニティ組織が結成され、地域づくり活動が行われております。しかし、少子高齢社会に入っている現在、福祉、防災、安全、環境など地域が直面する課題は山積みしております。

地域の課題解決には、自分たちの地域を見詰め直し、自らの手で課題解決していくことが住民自治の基本であり、協働のまちづくりを進める上で、極めて重要だと考えております。

身の丈に合った、健全な行財政で元氣創造をめざすまち

大胆かつ効果的な改革を実行

本町の財政状況は、昨年十一月に示しました「財政計画2005（十一月）」において、十八年度においても財源不足が生じると見込まれ、依然として厳しい状況が続いております。「三位一体の改革」による新たな影響額は、平成十八年度当初予算で、およそ三千三百万円の減を見込んでの予算編成となりました。

また、平成十七年度に行われた国勢調査による人口減が平成十八年度の地

今まで培ってきた関係をより強くし、効果的な連携に向けて努力してまいります。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
以上、平成十八年度における主要な施策について申し述べてまいりました。先行き不透明な地方自治体を巡る厳しい環境は、依然として好転の兆しは見えません。しかし、住民に最も身近な自治体である町が地域住民自らの意志に基づいて、その責任で地域の課題を解決していくことが地方分権のあるべき姿であります。

また農山漁村には、日本文化の基層を支えてきたという誇りがあります。多様で変化に富んだ我が国の文化の源は、農林漁業などにおける生産活動を通じての自然への感謝、災害や不幸を回避する祈りの中から生まれてきた伝統行事や祭りなどの蓄積によって形成されてきたといわれております。

農山漁村が衰退し崩壊することは、日本の文化を喪失することであり、自然や国土の崩壊に通じることであります。そして、安全、安心な食の源を失うことでもあります。

そのようなことが許されていいはずがない。私たちは、自信と誇りを持って日本の文化の原点、食の源である郷土を守り発展させるために、これからも新しいまちづくりに努力していかねばなりません。

なお一層の町民各位並びに議員各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。施政方針とさせていただきます。

平成18年度予算

一般会計

平成18年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ65億550万円。前年度当初予算と比べて9.2%の減となり、5年連続のマイナス予算となりました。

歳入では、国や金融機関などから借り入れる町債が前年度比42.3%減。これは投資的経費の抑制により、住宅整備債や土地区画整理債が大幅に減少したことによるものです。歳出では、土木費が前年度比29.9%減、農林水産業費が同38.7%減となっています。

厳しさを増す町の財政事情ですが、限られた財源の効率的な運用に努め、新たに始まった第8次町総合発展計画の達成に向け、各種事業を着実に推進していきます。

■歳入の状況 (単位：万円、%)

歳入				
区 分	予 算 額	構成比	伸 率	
自主財源	町 税	100,994	15.5	△0.8
	繰 入 金	66,892	10.3	△4.2
	分担金・負担金	9,115	1.4	△1.0
	使用料・手数料	7,105	1.1	△2.3
	諸 収 入	2,871	0.4	9.8
	財 産 収 入	434	0.1	△0.5
	繰 越 金	10	0.0	0.0
	寄 附 金	0	0.0	0.0
	計	187,421	28.8	△1.9
依存財源	地 方 交 付 税	281,400	43.3	△0.5
	町 債	50,640	7.8	△42.3
	国 庫 支 出 金	46,948	7.2	△28.4
	県 支 出 金	42,041	6.5	△21.3
	地 方 譲 与 税	20,410	3.1	33.3
	そ の 他	21,690	3.3	5.1
計		463,129	71.2	△11.9
合 計		650,550	100.0	△9.2

■歳出の状況 (単位：万円、%)

歳出				
区 分	予 算 額	構成比	伸 率	
民 生 費	163,493	25.1	1.1	
土 木 費	106,543	16.4	△29.9	
公 債 費	100,746	15.5	2.0	
総 務 費	84,144	12.9	△4.4	
教 育 費	58,863	9.0	0.4	
衛 生 費	52,738	8.1	1.1	
消 防 費	35,513	5.5	△5.3	
農 林 水 産 業 費	27,721	4.3	△38.7	
議 会 費	11,116	1.7	△1.2	
商 工 費	9,060	1.4	△15.0	
労 働 費	112	0.0	△6.0	
災 害 復 旧 費	1	0.0	0.0	
予 備 費・そ の 他	500	0.1	0.0	
合 計	650,550	100.0	△9.2	

町の全会計

町の平成18年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は128億7,790万円です。

特別会計については、18年度から介護保険特別会計（サービス事業勘定）を新設。土地取得事業特別会計は当面の間、用地取得の計画がないことから廃止しました。

ここでは、本年度行われる主な事業を担当課ごとに紹介します。

◆平成18年度各会計の予算額

- ・一般会計……………65億550万円
- ・国民健康保険特別会計……………24億99万円
- ・老人保健特別会計……………18億3,334万円
- ・介護保険特別会計（事業勘定）……………12億4,978万円
- ・介護保険特別会計（サービス事業勘定）……………648万円
- ・簡易水道事業特別会計……………8,783万円
- ・漁業集落排水処理事業特別会計……………1 億4,830万円
- ・公共下水道事業特別会計……………3 億7,729万円
- ・水道事業会計……………2 億6,839万円

総務課

- ◆定期路線バス運行委託料 1,365万円
- ◆広報やまだ印刷製本費 652万円
- ◆非常食備蓄費 50万円

選挙管理委員会事務局

- ◆町農業委員会委員選挙費 205万円

企画財政課

- ◆国土調査費 1,203万円
船越第17地割の一部の地籍調査を行います。
- ◆電算管理費 4,543万円
従来の電子計算機等リース料1,434万円に加え、電算事務のアウトソーシングに伴うオープンシステムリース料1,075万円を計上しています。

税務会計課

- ◆納税貯蓄組合補助金 228万円
納税制度の普及と収納率向上のため、各納付組合に対し運営費の一部を助成します。

水道事業所

- ◆第11次拡張改良事業費 1 億2,730万円
上水道と馬指野簡易水道の統合認可申請書作成業務委託料や、織笠水源地利取水井の改良、配水管布設工事費を盛り込んでいます。
- ◆簡易水道等整備事業費 3,900万円
豊間根簡易水道の配水管布設替工事費3,550万円を計上しています。

産業振興課

- ◆いわて農業担い手支援総合対策事業補助金 425万円
りんどう苗、栽培用資材、生産管理機械の整備に係る補助金です。
- ◆森林整備地域活動交付金 600万円
森林整備に必要な作業道・歩道の刈り払いや森林の現況調査を行う団体などに交付します。
- ◆道の駅対策費 356万円
「道の駅やまだ」に指定管理者制度を導入したことに伴う指定管理料323万円を計上しています。
- ◆水産経営活性化対策事業費補助金 368万円
船越魚市場に設置する防鳥ネットや、織笠漁協が整備する貝殻破砕機に係る補助金です。
- ◆山田魚市場外来船誘致協議会補助金 30万円
山田魚市場の水揚げを促進するため、新たに発足する協議会への補助金です。
- ◆田の浜地区漁業集落環境整備事業 6,053万円
下水道、集落道、緑地広場、防火水槽などの整備を長期的に進めてきており、本年度で完了予定です。
- ◆観光費 1,981万円
各種イベント開催事業費のほか、山田の魅力発信実行委員会補助金を盛り込んでいます。



保健福祉課

- ◆町社会福祉協議会補助金 993万円
新たに民生児童委員協議会など社会福祉6団体の事務移管分を含みます。
- ◆身体障害者支援費 4,337万円
- ◆老人福祉費 3 億3,765万円
▷老人クラブ活動費補助金…111万円▷高齢者にやさしい住まいづくり事業補助金…180万円▷町シルバー人材センター運営事業補助金…270万円
- ◆民間保育所運営委託料 2 億9,336万円
- ◆循環器検診委託料 2,529万円
- ◆介護保険事業 12億5,626万円
歳出総額の大部分を占める保険給付費は12億140万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など各種サービス費用に充てられます。

地域整備課

- ◆道路維持費 5,913万円
石峠・嶋田・中村橋の3橋の橋りょう点検調査費のほか、町道の維持補修費、除雪費を盛り込んでいます。
- ◆道路新設改良費 4,001万円
継続事業として長林大浦線改良工事を行います。
- ◆土地区画整理費 4 億3,808万円
▷宅地整地、細浦柳沢線、街路などの工事費…1 億2,016万円▷建物等移転補償費…3 億338万円
- ◆公共下水道事業 3 億7,729万円
快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、船越と山田地区で公共下水道事業を実施しています。
- ◆合併処理浄化槽設置整備事業補助金 294万円

住民生活課

- ◆海を守る推進費 408万円
水質検査委託料185万円を計上しています。
- ◆国民健康保険事業 24億99万円
国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる支え合いの制度です。
- ◆老人保健事業（医療費関係） 18億3,334万円
老人保健制度は75歳以上（重度障害者は65歳以上）の高齢者が、病気になっても安心して医療が受けられる制度です。
- ◆重度心身障害者医療費給付 4,314万円
- ◆児童手当給付 1 億3,342万円
児童手当の給付対象が小学校6年生までに拡大されるのに伴う増額分を計上しています。
- ◆斎場火葬炉補修工事費 900万円
- ◆塵芥し尿処理費 2 億9,172万円

消防防災課

- ◆宮古地区広域行政組合（消防関係）負担金 3 億1,430万円
- ◆消防施設費 588万円
飯岡地区に防火水槽を1基設置します。

教育委員会

- ◆小中学校教育用パソコンリース料 2,811万円
- ◆小中学校屋根等施設整備工事費 300万円
本年度から5年計画で校舎屋根の塗装などを行います。
- ◆スクールバス運行委託料 1,127万円
- ◆山田中学校プールろ過装置交換工事費 683万円
- ◆文化費 1,333万円
山田町史（下巻）発行に伴う印刷製本費、文化財保存処理委託料を盛り込んでいます。
- ◆人づくり事業費 1,212万円
ジュニア海外使節団派遣事業の旅行业務委託料、国内外研修事業補助金などを計上しています。

映画「待合室」山田上映会

5月14日(日)

1回目…午前10時半～
2回目…午後1時～
3回目…午後3時半～

町中央公民館大ホール

山田BBS会では、一戸町のIGRいわて銀河鉄道小繋駅の待合室を舞台にした映画「待合室」の山田上映会を開催します。なお、入場料の一部は町内の幼稚園・保育園(所)を対象にした「花いっぱい運動」資金として活用されます。

◆入場料 大人…1,000円(当日1,500円)
小学生～高校生…800円(当日券のみ)

◆入場券販売開始日 4月3日(月)

◆入場券取扱所 佐藤薬局(豊間根)、鈴門商店(山田店、大沢店)、町中央公民館、山田町商工会、一休松尾山田店、フローリストばば、靴のサイトウ、ピザ・テンフォー山田店、川石水産、岩手日報山田センター、丸萬石油、道の駅やまだ

◆問い合わせ 山田BBS会事務局(龍昌寺内 ☎090-4313-4206) へどうぞ。

※山田BBS会では、1月下旬に開催した難病患者支援チャリティー映画「1リットルの涙」山田上映会の益金の一部約14万円を県難病団体連絡協議会に寄付しました。皆様のご協力ありがとうございました。

イラスト



みんなのスペース



はが みき ちゃん
(山田第二保育所・5歳)

わたしのゆめ

大きくなったらケーキ屋さんになって、大好きなショートケーキをたくさん作りたいな。

古里への便り⑪



ふる里山田同郷の会会計監事
東京都日野市
昆 萬嗣雄さん(67歳)
(織笠出身)

故郷の皆さまには健やかに過ごしのことと存じます。私が故郷を離れたのは、昭和三十五年八月でした。もう四十七年も経っているのに最近のような感覚です。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

山田よいとこ好きな町(二)

古里山田を遠く離れて、日々ご活躍なさっておられる多くの方々には常々、またふとした時、山田を思い出されて、遠い故郷の空に心馳せておられることでしょう。

はチツボケなサンゴ礁の、二十人足らずのカナカの人たちが暮らしているおとぎの国のような小島で、島流し同然に一年半も気象観測に従事していました。日ごとの思いはやはり故郷の山田のこと。夜空に輝く南十字星を仰ぎ眺めながら、山田恋しやの感傷に胸一杯突き上げられて、「椰子の実」の歌、「故郷の岸を離れて」と口ずさみ、日本男子が恥ずかしながら若き目に涙にじませていたものです。

そう思った思いから今、遠くにおられる皆さんが山田をしのばれる糧にとになればと、山田のことをあれこれ、老いの身で慣れぬ筆を運んでおります。もとより浅学非才の者、間違いなど多々ありましようが、何とぞご笑読されて、ご教示をくだされば、ありがたきことと存じます。

君さらばよ 別れ行かん
幼き夢の山より川よ
なげきを包み丘に立てば
過ぎし古里のあゝ霧は深し

一、出船の出船のドラが鳴る
塩釜がよいの船が出る
さらばしるしの別れだが

せめても笑顔でいてくれ
二、別れて別れて行くけれど
恋し古里忘れりよか
必ず歸るよ それまでは
かあさん一人を頼んだぞ

子供のころ寝ていると、明け方前の三時ごろ、ボォー、ボォーと腹に響くような船の汽笛。三陸丸か、新東北丸か？今にして懐かしい限りである。

ペンネーム・山田北州
(山田・85歳)

ポイ捨ては絶対にやめよう
春の息吹を感じられる今日このごろ、雪解けも進んで車窓か

らの景観も快適になってきました。しかし、不愉快に感じるのが道路脇の空き缶などのごみです。車中でおいしく楽しく飲んだ後の始末を公共の道路脇や土手などに捨てることは慎んでほしいものです。

いきずながあり、心が安らいだ。母は時には、麦を鉄鍋でいった麦茶を出すこともあった。今では縁側は遠い日の情景となつたが、折々に懐かしく思い浮かべる。

菊地サカエ(織笠・72歳)

◇ ◇ ◇

はる近し

ぬくむ陽気の心地良さ

山崎泰司(船越・59歳)

誰にも嫌われないようになんて

思わなくなつていい

君は傷つきやすく

すぐ繊細だつてこと

知ってるよ

ただ君には

君のこと大切に思ってる

友達がいること忘れないで

たとえ君のこと

悪く言う人がいても

決して僕は変わらな

ずっとずっと友達で

ずっと君の見方だよ

ペンネーム・風の踊り子

◇ ◇ ◇

まちあわせ

北銀前の白い杖

菊地孝進(船越・84歳)

もみじの手

つつんで歩く散歩道

山崎栄子(船越・57歳)

春彼岸

川辺に映える猫やなぎ

佐々木兼男(荒川・79歳)

4月から介護保険料が3,596円に

介護保険制度の改正に伴い、四月一日から介護保険料段階と、第一号被保険者（六十五歳以上）の介護保険料が変わりました。

介護保険料段階は低所得者に配慮するため、これまで所得範囲が広がった第二段階を細分化し、合計所得金額と課税年金収入の合計金額が年額八十万円以下の人は「新第二段階」とし、それ以外を「新第三段階」とし、これまでの五段階制から六段階制に変更しました。

第一号被保険者の介護保険料の基準月額は、二千九百八十三円から三千五百九十六円に改定されました。

年々、介護を必要とする

介護サービスの充実が図られていますが、何より介護を必要としない健康な体づくりが大切です（「お座敷広場」での健康診断）

方々の増加に伴う介護サービス給付費の増大に対応していくため、今回の見直しとなりました。厳しい経済事情のもとでの料金改定で負担をお掛けしますが、皆さんご理解をお願いします。

なお、地方税法の改正に伴って住民税課税者となったことにより、保険料負担が増えた人については、急激な負担増を緩和するため、平成十八年度と十九年度に経過措置を行います。

低所得者への軽減制度

町では、老齢福祉年金受給者および老齢福祉年金以下の収入で、一定要件を満たしている人を対象に実施してきた保険料の全額減免を廃止し、新たな軽減制度（下表参照）を設けました。保険料の減額は本人の申請により行われますので、対象となる方はお早めに申請手続きを行ってください。

◆**問い合わせ** 役場保健福祉課 介護保険担当（☎82-3111 内線163）へどうぞ。

◆介護保険料段階および保険料改正の概要

現 行			改 正 後		
段 階	保険料(年額)	対 象 者	段 階	保険料(年額)	対 象 者
第1段階	17,900円 (基準額×0.5)	本人および世帯全員が住民税非課税であって、老齢福祉年金の受給者、生活保護の受給者	第1段階	21,600円 (基準額×0.5)	変更なし
第2段階	26,850円 (基準額×0.75)	本人および世帯全員が住民税非課税	第2段階	21,600円 (基準額×0.5)	本人および世帯全員が住民税非課税であって、合計所得金額+課税年金収入が80万円以下の人
			第3段階	32,400円 (基準額×0.75)	本人および世帯全員が住民税非課税であって、第2段階以外の人
第3段階	35,800円 (基準額)	本人は住民税非課税であるが、世帯員の誰かが住民税課税	第4段階	43,200円 (基準額)	変更なし
第4段階	44,750円 (基準額×1.25)	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が200万円未満の人	第5段階	54,000円 (基準額×1.25)	変更なし
第5段階	53,700円 (基準額×1.5)	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上の人	第6段階	64,800円 (基準額×1.5)	変更なし

◆介護保険料軽減制度の概要

区分	軽減の対象となる人	軽減の内容
I	1 老齢福祉年金受給者で本人および世帯全員が非課税 2 老齢福祉年金以下の収入で、次の4つの要件をすべて満たし、生活保護を受けていない人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下（3人目から1人につき40万円を加算）▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない——人	保険料段階第1段階の半額の保険料相当額に軽減 (年額21,600円⇒10,800円に軽減)
II	1 災害により著しい損害を受けた時 2 世帯生計維持者の死亡または長期入院などで収入が著しく減少した時 3 世帯生計維持者の収入が事業の休廃止、失業などにより著しく減少した時 4 世帯生計維持者の収入が不漁、不作などにより著しく減少した時	本来、納めるべき保険料段階から1段階分軽減 (年額より10,800円を軽減)
III	1 保険料段階が新第3段階で、次の4つ要件をすべて満たす人。▶世帯全員が住民税非課税▶世帯の年間収入が120万円以下（3人目から1人につき40万円を加算）▶住民税課税者に扶養されていない▶100万円以上の預貯金など一定以上の資産を所有していない——人	保険料段階第3段階を第1段階の保険料に軽減 (年額32,400円⇒21,600円に軽減)



国民健康保険は社会全体で支え合う制度。国保税は納期限を守って納めましょう（昨年の町民体育祭）

国保税の税率を改定

安定した国保運営を目指し

1人当たり医療給付費分は9.7%引き上げ

国民健康保険税の税率が改正され、平成十八年度から医療給付費分の一人当たり平均課税額が九・七三%、介護分の一人当たり平均課税額が六二・一四%それぞれ引き上げられました。医療給付費分は平成十年度以来八年ぶり、介護分は介護保険制度がスタートした平成十二年度以来初めての改正となります。

本町の国民健康保険事業は、国保税収入の落ち込みや介護納付金の増高等により、平

成十六年度から財政調整基金（貯金）を取り崩して運営してきました。このことから町では、国保の厳しい財政状況を改善し、安定的に医療や介護のサービスを提供できるようにするため、平成十八年度から国保税の税率を改正（下表参照）することにしたのです。

改正に当たっては、低所得者への軽減制度を適用できるように配慮した結果、医療給付費分の資産割、均等割、平等割はそれぞれ減額改正。医療給付費分の所得割と介護分は増額改正となりました。従ってそれぞれの世帯の状況によっては、税額が前年度よりも高くなる場合も、低くなる場合もあります。各世帯の税額については、七月中旬に納税通知書でお知らせします。

◆一人当たりの平均課税額

区 分	医療給付費分	介護分
現 行	60,993円	13,192円
改正後	66,930円	21,389円
増減額	5,937円増	8,197円増
増減率	9.73%増	62.14%増

介護分：40歳から64歳までの人は介護保険制度の第2号被保険者として、国保の保険税に介護分（介護納付金分）を合わせて納めます。

低所得者への軽減制度

前年の所得額が一定基準以下である低所得者の世帯には、均等割と平等割を軽減する制度があります（下表参照）。

七割軽減と五割軽減の対象の方々については、申請の必要はありませんが、二割軽減の方は申請しなければ該当になりません。対象者の方々には郵便でお知らせしますので、ご希望の方はお申し込みください。

◆問い合わせ 役場住民生活課 国民健康保険担当（☎82-3111内線124）へ。

◆国民健康保険税の税率改正内容

区 分		医 療 給 付 費 分		介 護 分	
		現 行	改 正 後	現 行	改 正 後
所 得 割	所得に応じて課税	6.0%	8.5%	1.0%	2.0%
資 産 割	固定資産税額に応じて課税	50.0%	40.0%	—	—
均 等 割	加入者1人当たり	25,000円	24,000円	8,000円	11,000円
平 等 割	1世帯当たり	28,000円	27,000円	—	—
課税の最高限度額		530,000円	変更なし	80,000円	90,000円

◆低所得者の軽減額

区 分	医療給付費分の均等割		医療給付費分の平等割		介護分の均等割	
	軽 減 前	軽 減 後	軽 減 前	軽 減 後	軽 減 前	軽 減 後
7 割 軽 減	24,000円	7,200円	27,000円	8,100円	11,000円	3,300円
5 割 軽 減	24,000円	12,000円	27,000円	13,500円	11,000円	5,500円
2 割 軽 減	24,000円	19,200円	27,000円	21,600円	11,000円	8,800円



今月の題字
田鎖悠人君
(荒川小5年)

田鎖のわだい

道路管理への住民参加で協定 三陸国道事務所と2団体が結ぶ

八千代自治会(吉川義男会長)、石峠地区自治会(三ヶ尻隆雄会長)の2団体は、三陸国道事務所が実施する「ボランティアサポートプログラム」の協定をそれぞれ結びました。同プログラムは、自治会など同事務所、協力者として地元自治体の3者が協定を結び、国道45号を管理するもので、地域住民らが用具の提供を受けて歩道の清掃や除雪作業などを行うものです。協定書の授与式は3月15日、役場で行われ、同事務所の庄司伸一副所長から両会長に協定書と歩道除雪機のゴールドキーが贈られました。本町では両自治会が初の協定締結となります。



ジャンボ鉄板で作るカキ料理の試食コーナーには長蛇の列ができました



大人気だった養殖いかだの見学会。参加者はカキやホタテの養殖の様子に興味深げに見学していました

山田カキまつり大にぎわい 旬の味覚まるごと味わう

旬の味覚カキをまるごと味わう「三陸山田カキまつり」が3月19日、大沢漁協前で開かれました。山田町商工会が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会(阿部幸栄会長)が、通年事業の「山田てんこ盛りフェスタ2005」の一環として開催したもので、会場は町内外から訪れた12,200人の行楽客でにぎわいました。カキ汁や直径約2.5mのジャンボ鉄板で作る「カキのオイスターソース焼き」の試食コーナーは長蛇の列。販売コーナーには殻付きカキや特産品などが市価より2〜3割ほど安く並び、訪れた人たちはまとめて買い求めています。カキむき体験や二本かぎを使ったカキ・ホタテの2分間取り放題のほか、小学生以下を対象に30秒間でどれだけ多くのカキを皿に積み重ねられるかを競うカキ積み大会もあり、子供から大人まで次々に挑戦。漁船による養殖いかだの見学会も行われ、訪れた人たちは殻付きカキの生産量日本一を誇る山田の魅力を堪能していました。

町選管が総務大臣表彰 適正な管理執行が評価される

昨年9月に行われた第44回衆議院議員総選挙で適正な管理執行が評価され、山田町選挙管理委員会が総務大臣から表彰されました。特に開票作業の時間短縮と投票率の向上が認められたものです。伝達式は2月27日、役場で行われ、県選挙管理委員会の小野寺英二委員長職務代理者が表彰状を読み上げ、町選挙管理委員会の和合協一委員長に手渡しました。和合委員長は「有権者の皆様のご協力に感謝しています。今後とも正確かつ迅速な選挙執行に努めていきたい」と決意を新たにしていました。



人命救助で3人が表彰される 早期発見に飼い犬も一役

山田漁港で漁船から誤って海に転落した男性の人命救助に貢献したとして、飯岡の今野勝之さん(62)=右=、大沢の関定一さん(51)=中=、飯岡の多田篤さん(34)の3人が宮古地区広域行政組合から表彰されました。表彰式は3月14日、山田消防署で行われ、野沢正樹消防長が3人に感謝状を手渡しました。今野さんの愛犬ロッキーが現場でほえたことが早期発見につながり、ロッキーにもビスケットが贈られました。3人は「水温が低くて心配したが男性が助かって良かった」と話していました。

瑞宝単光章



故 佐々木久和さん

二月五日に逝去された元町消防団副団長の佐々木久和さん(六八)は、豊間根に、死亡叙勲として瑞宝単光章が贈られました。

長として活躍。消防力の強化と充実に努めるとともに、地域住民の生命と財産を守るため、消防防災活動に尽力されました。平成十三年からは、二期五年間にわたり町農業委員会委員として、優良農地の確保と有効利用に努め、町農政の発展に貢献されました。

ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈り致します。

故 佐々木久和さんに贈られる 地域消防の発展に大きく貢献

鎌田孝典町議が逝去



故 鎌田孝典さん

町議会議員の鎌田孝典さん(織笠・七六)が三月二十日に逝去されました。

鎌田議員は昨年十二月に体調を崩し入院していました。元気で退

が、教育民生常任委員として、常に社会的弱者の視点に立ち、障害者や高齢者の福祉施策に積極的に取り組むなど、町民の福祉向上のため尽力されました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈り致します。

院され、議会活動を再開することが待たれていただけに、その悲報に関係者は落胆しています。

鎌田さんは平成十五年四月に町議会議員に初当選。三年ほどの議員生活ではありましたが、

— 4月1日付 —

町職員の人事異動

◆**総務課**▷住民協働推進室長・文書情報防災チームリーダー(産業振興課課長補佐)関清貴▷上席副主幹(教育委員会事務局上席副主幹兼社会教育主事)澤木次博▷副主幹(住民生活課主査)豊間根幸子▷主任(企画財政課同)佐藤篤人

◆**企画財政課**▷課長(税務会計課同)花坂守▷上席副主幹(保健福祉課同)佐藤義雄

◆**税務会計課**▷課長(産業振興同)佐藤勝一▷主任(地域整備課同)鳥居義光

◆**産業振興課**▷課長(総務課政策評価主幹兼行政改革主幹)昆和章▷水産振興主幹兼課長補佐・水産チームリーダー(同課課長補佐兼水産専門員)内田明▷課長補佐・農林チームリーダー(同課課長補佐)千代川博一▷上席副主幹(教育委員会事務局同)阿部敏文

◆**住民生活課**▷課長(地域整備課同)五十嵐秀一▷課長補佐・住民記録チームリーダー(農業委員会事務局次長)阿部照實▷上席副主幹(総務課同)豊間根和博▷主査(総務課同)白土まさ子▷主任(保健福祉課同)佐々木勝吉▷主事(税務会計課同)武藤美奈子

◆**保健福祉課**▷課長補佐・地域包括支援センターチームリーダー(同課課長補佐・高齢者福祉チームリーダー)昆幸利▷課長補佐・高齢者福祉チームリーダー(地域整備課同)舟田春樹▷上席保健副主幹(同課保健副主幹)湊ミヨ子▷上席副主幹兼轟木児童館長(織笠保育園園長)鈴木洋子▷上席副主幹(産業振興課上席主査)福士雅保▷主査(住民生活課主任)木村庸助▷主任(住民生活課同)西村淳子▷主事(住民生活課同)外館美穂

◆**地域整備課**▷課長(住民生活課同)福士豊▷課長補佐・都市整備チームリーダー(同課課長補佐)武藤茂▷課長補佐・土木チームリーダー(同課上席技術副主幹)芳賀俊明▷課長補佐・下水道チームリーダー(同課上席技術副主幹)佐藤久雄▷上席技術副主幹(同課技術主査)佐々木達彦▷上席副主幹(水道事業所上席主査)武藤圓悦▷上席副主幹(同課主査)川石昭人▷主査(税務会計課主任)佐々木真悟

◆**船越支所**▷支所長兼船越公民館長(住民生活課上席主査)岡市善敏

◆**船越保育園**▷園長(豊間根保育園同)佐々木マサ子▷栄養副主幹(豊間根保育園栄養主査)甲斐谷和子▷主任保育士(さくら幼稚園主任教諭)山崎智子▷保育士(豊間根保育園同)長岡聖恵

◆**織笠保育園**▷園長(船越保育園同)上野美智子▷上席保育副主幹(豊間根保育園上席保育主査)川端京子▷栄養士(船越保育園同)小原美智子▷保育士(船越保育園同)兼澤知佳

◆**轟木児童館**▷館長(織笠保育園園長)鈴木洋子▷上席児童指導副主幹(わかば幼稚園上席教諭主査)佐々木真由美

◆**水道事業所**▷上席副主幹(地域整備課上席主査)糠盛勝彦

◆**農業委員会事務局**▷事務局次長(地域整備課課長補佐)福士永輝

◆**教育委員会事務局**▷教育次長(企画財政課長)澁谷力▷上席副主幹(船越支所長兼船越公民館長)長岡豊▷上席副主幹(同局主査)昆秀樹▷主事(保健福祉課同)佐々木宜男▷社会教育主事(同局主事)五十嵐亮

◆**図書館**▷上席副主幹(産業振興課上席主査)芳賀定明

◆**さくら幼稚園**▷上席教諭副主幹(轟木児童館上席児童指導主査)里館啓子▷主任教諭(織笠保育園主任保育士)鳥居弥寿子

◆**わかば幼稚園**▷上席教諭主査(さくら幼稚園同)福士美奈子

◆**山田南小学校**▷校務員(豊間根中学校同)平塚幸子

◆**山田北小学校**▷校務員(大沢小学校同)佐々木マイ子

◆**船越小学校**▷校務員(織笠小学校同)新保千鶴子

◆**織笠小学校**▷校務員(荒川小学校同)田代修三

◆**大沢小学校**▷校務員(山田南小学校同)菊地勝江

◆**豊間根小学校**▷校務員(山田中学校同)湊真吾

◆**荒川小学校**▷校務員(豊間根小学校同)山屋勇雄

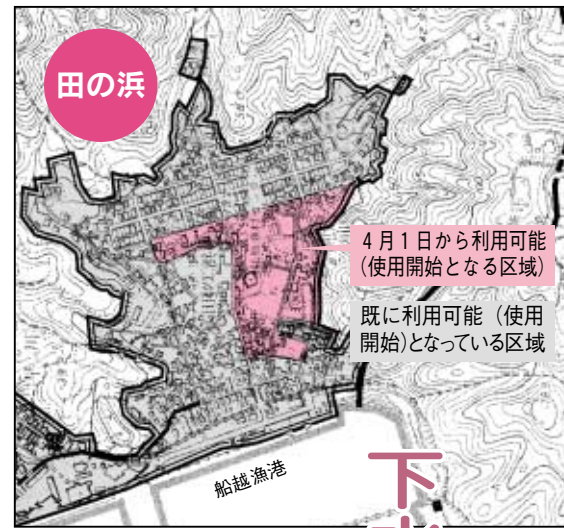
◆**山田中学校**▷校務員(山田北小学校同)山口律

◆**豊間根中学校**▷校務員(船越小学校同)阿部綾子

◆**消防防災課**▷課長・佐藤敬一▷課長補佐・佐々木重光▷上席主査・小林達広▷上席主査・小山田敏▷主任・福士清▷主任・小林徳光▷主任・内田信也▷主任・里館郁雄▷主事・大町剛▷主事・阿部大紀

◆**新採用**▷産業振興課主事・小成渉▷住民生活課主事補・三田地雅子▷保健福祉課保健師・中村貴恵▷保健福祉課保健師・佐々木裕子

◆**退職**《3月31日》▷関一郎(教育委員会事務局教育次長)▷関ヒデ子(住民生活課上席副主幹)▷木村順子(図書館副主幹)▷菊地藤子(保健福祉課主査)▷川村晴美(豊間根保育園保育主査)



4月1日から利用可能
(使用開始となる区域)

既に利用可能(使用
開始)となっている区域

下水道の利用可能区域を拡大

現在、下水道は大浦、船越、田の浜、大沢地区のほか全域で利用できます。四月一日からは田の浜地区で利用可能区域がさらに拡大(図面参照)しました。

下水道の整備により、皆さんのご家庭で水洗トイレを使用したり、台所や風呂などの排水を流したりすることができるようになります。下水道が利用できる区域の皆さんには、快適な環境をつくり出す下水道の役割を理解していただき、下水道への早めの接続にご協力をお願いします。

◆**問い合わせ** 役場地域整備課 下水道チーム庶務担当(☎82-3111内線212)へ。

各家庭から公共污水
ますに接続する排水管
などの排水設備工事の
費用は、利用者の皆さんの負担
になります。トイレの水洗化や
排水設備工事は町に登録してい
る排水設備工事指定店で行いま
すので、工事に関する手続きな
どお気軽にご相談ください。

町長室から

織笠川河口で白鳥が越冬するようになったのが何年前からだったかは定かではありませんが、この冬も五羽の白鳥が飛来しました。春めいた日が続いた三月十一日には二羽だけが残っており、恐らく三羽が既に北を目指して飛び立ったものと思われます。同じ群れにいても北帰行は別々だったことを知りました。残りの二羽も翌日の夕方にはいまいに来たミサゴが上空から餌を狙っています。山田の地にも春が確かに近づいていました▼春といえば人事異動の季節。今年も多くの人を送り、新しい人を迎えました。他所から転入する方の歓迎のあいさつで私は必ず山田自慢をします。それは自然であり食材の豊かさであり人情であります。数年してその人たちが山田を去る時、町長の言葉にうそはなかったと言われることが私にとってとてもうれしいことです。

山田町長 沼崎喜一



まちで出会ったかわいい笑顔

おしらせ

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス

<http://www.town.yamada.iwate.jp/>

広報クイズ 226

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- 1 今年3月24日に豊間根保育園を卒園した園児は何人？
①3人 ②13人 ③23人
- 2 3月19日に行われた「三陸山田カキまつり」の来場者数は何人？
①12,200人 ②23,400人 ③34,500人
- 3 今号の「町のわだい」題字を書いた田鎮悠人君は、何小学校の児童でしょう？
①荒川 ②船越 ③山田北
- 4 今号の「一歳になりました」に登場している赤ちゃん11人のうち、女の子は何人？
①6人 ②7人 ③8人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。

【応募先】 〒028-1392 (住所記載不要) 山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 4月20日 (当日消印有効)

☆前回の正解は①-A、②-C、③-B、④-Bでした。応募者数36通で35通が正解、抽選の結果次の10人が当せんしました。

北浜町=小成一輝(9) 川向町=原田慶子(61) 境田町=福士恵(10) 田の浜=坂本香純(11) 織笠=福士結衣(8)、高橋成美(14)、松山珠美(29) 大沢=箱石かなで(5) 豊間根=佐々木英美(13) 神奈川県相模原市=穂積知聖(14) <敬称略>

固定資産の縦覧制度のご利用を

町では、4月1日から土地・家屋価格等縦覧帳簿をお見せしています。同制度では、ご自分の所有以外の固定資産について、評価額や面積などを見ることができます。ただし、所有者や課税内容は見るできません。

なお、ご自分が所有する固定資産の課税内容は固定資産課税台帳で見ることができ、地域ごとの宅地の標準的な価格は路線価図として公開されており、年間を通してご覧いただけます。

▷期間 4月1日～30日(土地・家屋価格等縦覧帳簿のみ)
※土・日曜日、祝日は見るできません。

▷時間 午前8時半～午後5時
▷場所 役場税務会計課

▷対象 土地・家屋価格等縦覧帳簿…納税義務者、納税管理人、代理人など 固定資産課税台帳…納税義務者、借地・借家人、代理人など 路線価図…一般町民

▷持参する物 代理人は同意書か委任状、借地・借家人は賃貸契約書などが必要です。

▷問い合わせ 役場税務会計課 資産税担当(内線114)へ。

歯やお口に関する テレホン相談開設

「ヨイ歯デーテレホン相談」が行われます。

▷期日 4月18日(火)

▷時間 午前10時～午後8時

▷相談内容 歯やお口の悩み全般

▷電話番号 岩手県保険医協会 ヨイ歯デーテレホン相談係(☎019-651-7341)へ。

県がツキノワグマ 出没注意報を発令

県では「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発令し、クマへの注意を呼び掛けています。県などの調べによると、今年はクマの食料となるブナが凶作になり、食物を求めて人里に出没する可能性が高いためです。

廃棄農作物などは適正に処理してクマを人里に寄せ付けないよう対策を取るほか、山菜取りなどで入山する際には、十分注意してください。

また、クマを見掛けたり、フンや足跡などクマの痕跡を発見したりした場合は、必ず役場住民生活課に連絡してください。

▷通報先 役場住民生活課環境衛生担当(内線127)へどうぞ。

保育士試験の申請 5月から受け付け

県保育士試験の受験申請を受け付けます。受験を希望する方はお申し込みください。

▷受験資格 ①短大以上を卒業した人(見込みを含む) ②高校を卒業し、児童福祉施設で2年以上児童の保護に従事した人 ③5年以上児童福祉施設で児童の保護に従事した人

▷試験日 8月2日、3日

▷試験会場 盛岡大学(滝沢村)

▷受験申請書の配布期間 4月10日～5月12日

▷受付期間 5月8日～19日

▷申請書の提出先 保育士試験事務センター(〒171-0033東京都豊島区高田3-19-10)

▷申請書の請求先・問い合わせ 役場保健福祉課児童福祉担当(内線131)へどうぞ。

町で臨時職員を 一般公募します

町では、次の臨時職員を募集します。選考方法は書類審査(履歴書)と面接です。

▷職種 一般事務補助

▷募集人数 2人

▷勤務場所 企画財政課、住民生活課

▷応募資格 町内に住所があり、パソコンの操作ができる人

▷賃金 日額5,400円

▷任用期間 5月1日～8月31日

※必要がある場合は、最大8カ月まで期間が更新されます。

▷申込方法 役場住民生活課または役場支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、役場総務課に提出してください。

▷申込期限 4月10日

▷問い合わせ 役場企画財政課 国土調査担当(内線435)、役場住民生活課総合窓口担当(内線123)へどうぞ。

各種技能検定の 受け付けが開始

平成18年の各種技能検定の受験受け付けが開始されます。

▷検定職種 機械加工、畳製作、建設機械整備、建具製作、ブロック建築、プラスチック成形、表装など35職種52作業

▷試験日 6月12日～9月10日

※職種や学科・実技試験により異なります。

▷受付期間 4月4日～14日

▷申請書の請求先・申請先 宮古職業訓練センター(宮古市長町2-6-1 ☎63-6688)

▷問い合わせ 岩手県職業能力開発協会(☎019-654-5427)へどうぞ。

水道事業所が移転しました

町水道事業所が役場庁舎2階に移転し、4月1日から業務を行っています。旧水道事業所での業務は3月31日をもって終了しましたので、お間違えのないようお願い致します。

▷問い合わせ 町水道事業所(☎82-3111内線220～224 ファクス82-2302)へどうぞ。

4月の町長面談日

▷日時 4月14日(金)

午前10時～正午

▷場所 役場4階特別応接室

※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

おめでた・おくやみ

2月届け出分（敬称略）

〔出生〕（ ）は保護者名と性別

▷山田 佐藤美海（賢一・女）、熊谷来夏（佑哉・女）、熊谷葵夏（佑哉・女）

▷船越 坂本優女（武・女）

▷大沢 藤江保毅（守・男）、福士俊輔（俊夫・男）

▷豊間根 高木那々実（信行・女）、尾形侑紀（正浩・男）

〔結婚した二人〕（ ）は住所

阿部勉（織笠）・山口望（荒川）

〔死亡〕（ ）は年齢

▷山田 白土あかね（30）、川村重良（62）、斉藤浩一（87）

▷船越 佐々木繁（82）、黒沢キエ（73）、山崎光也（91）、木村貢（88）

▷田の浜 佐々木キヨ（88）

▷織笠 福士倫藏（76）、佐々木ソヨ（96）、小林市郎（91）

▷大沢 佐々木フツ（90）、鈴木藤七（89）

▷豊間根 尾形潤子（52）、長澤ヨシ（99）、佐々木久和（69）、外館スミエ（83）、佐々木才二（79）、斎藤惣藏（82）

▷荒川 佐藤博（78）、藤原キミエ（88）

町民のうごき

（2月1日～28日）

▷出生……10人 ▷転入……29人

▷死亡……26人 ▷転出……20人

▷人口…20,741人（今月減 7人）

男…9,954人 女…10,787人

▷世帯数……7,265世帯

◆三陸山田カキまつり取材してきました。当日は天候にも恵まれ、来場者数も前回を遥かに上回って大盛況でした。◆続いて今月末には織笠川河口でアサリまつりが開催されます。皆さんこちらにもぜひお越しください。◆初めて書いたピンボケに、稚魚放流会での失敗談が書いてあり、「四年後に帰ってくるサケのように成長しなければ」と締めくくられていました。◆成長できたか分かりませんが、広報担当五年目がスタート。どうぞよろしく。

幸



小林 鈴 菜
（長崎・大司・女）



竹内 晃 広
（飯岡・正広・男）



伊東 将
（八幡町・好則・男）



木村 萌 衣
（船越・智・女）



田代 さくら
（田の浜・勉・女）



西川 恵 生
（豊間根・秀樹・女）



佐藤 瑞 希
（山田・浩章・男）



※敬称略・（ ）内は地区名、保護者、性別です。



道又 華
（飯岡・城・女）



福 舘 拓 真
（船越・裕也・男）

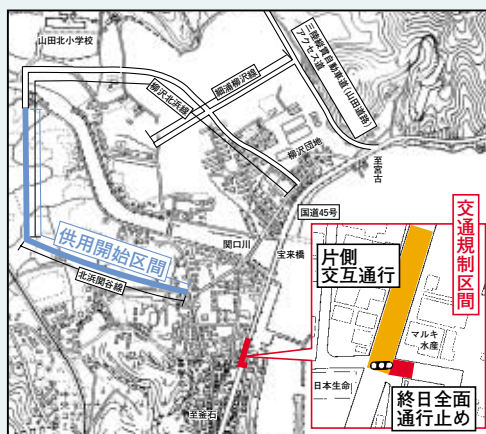


中村 寿々加
（大沢・忠司・女）



田村 紫 音
（大沢・進也・女）

都市計画道路が一部供用開始



都市計画道路の一部区間が完成し、3月31日から供用を開始しています。
▷利用できる区間 柳沢北浜線と北浜関谷線の一部（左図のとおり）
▷問い合わせ 役場地域整備課区画整理担当（☎82-3111内線241）へどうぞ。

北浜地区で交通規制行われます

山田漁港海岸保全（堤防）工事のため、上図の区間で交通規制が行われます。ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

▷規制内容 国道45号…時間帯（午前8時半～午後5時）片側交互通行（車幅3m以上の特殊車両は終日通行止め）

臨港道路…車両全面通行止め（歩行者は通行できます）

▷規制期間 4月24日～来年1月31日（予定）

▷問い合わせ 宮古地方振興局漁港漁村課（☎64-2216）へ。